

## 参考・記入例

(赤文字の部分を記入してください)

報告様式

2027年 3月 25日

## 度 大学医学部東洋医学サークル活動支援事業

## 【収支報告書】

※白色の欄に必要事項を漏れなく記入してください

1.大学名	ABC医科大学		
2.サークル名	東洋医学研究会		
3.報告者名	氏名	財団 太郎	学部・学年 医学部・3年
	メールアドレス	zhide@abc-u.ac.jp	

※支援金を使った明細と金額を記入ください。  
 ※支出対象はサークル活動に関連するもので、  
 飲食代・送別品、懇親会費などは不可です。  
 ※個人所有となる物品購入も不可です。

単位(円)

4.支出費用 (明細)	実施活動名 (参加学会、研修会の名称、日付は必ず記入下さい)	活動別 合計金額	明細	
			内訳	支出金額
2026年度 定期勉強会		¥29,000	参考図書購入	¥3,000
			リモート勉強会用zoom契約	¥18,000
			試飲用生薬	¥3,000
			外部講師謝金	¥5,000
第76回日本東洋医学会仲景杯発表 (6/13-14)		¥58,000	東京-富山往復 交通費(4名)	¥40,000
			富山宿泊(3名)	¥18,000
第10回関東地区大学合同研修会参加 (10/24-25)		¥3,500	東京-幕張往復 交通費合計(3名)	¥3,500
		¥0		
合計		¥90,500		

支援希望額(円単位)

¥100,000

未使用額

¥9,500

・活動内容 ・活動成果	・定期勉強会を4月から2月にかけて9回実施し、テーマ発表や症例討議を行った。WEB開催にしたことで参加者が増えた。 ・外部講師によるサークル夏季セミナーを開催した。外部講師による講演、煎じ薬試飲を通じて生薬の配合について学んだ。 ・第4回仲景杯に参加し、全員で課題のプレゼンを行った。他大学との討議を通じて東洋医学の知識が深まった。 ・サークルの解答は、模範解答とは異なっていたが患者把握のアプローチを評価いただき、優秀賞を受賞した。 ・他の参加大学とも交流ができ、東洋医学を学ぶネットワークが広がった。 ・関東漢方研究会合同勉強会に4名参加した。各大学の症例発表を通じて病態把握の新たな気づきがあった。 ・研修会プログラムで●●先生の五臓に関する講演を聴講し、学会発表テーマとなる知識を修得できた。
----------------	--

5.顧問	氏名	東洋 遥香	印	メールアドレス	tharu@abc-u.ac.jp
	所属	消化器外科学講座		肩書	主任教授

顧問教員の署名または押印をもらってください。

## ●報告時の注意点

- 上記支出金額に対する「領収書」等のコピーを提出してください。
- 領収書名は「申請研究会名」または「申請③に記載の会員名」であることを確認してください。
- 学会発表の場合、演者の名前が記載された学会プログラム、発表スライドのコピーを添付してください。
- 研修会参加の場合、研修会プログラム、研修会資料などのコピーを添付してください。
- 報告時に支援金額に対し未使用額が多く残っている場合は、未使用額の返金を求める場合があります。